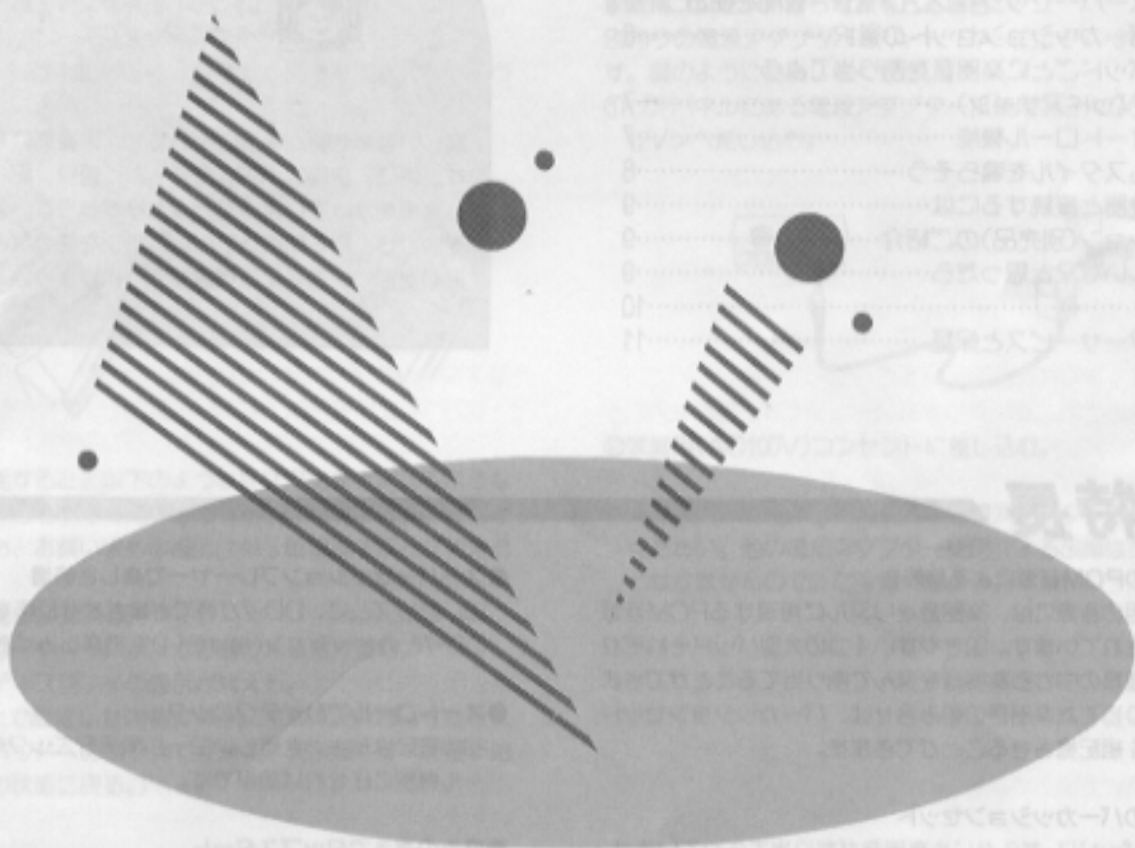


# DIGITAL PERCUSSION

# DD-7

## 取扱説明書



# YAMAHA

このたびは、ヤマハ・デジタルパーカッション・DD-7をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

DD-7は、ヤマハが誇るデジタルテクノロジーを集めて完成させたパーカッションです。本書では、その豊富な魅力と操作方法を充分にご理解いただけますよう、順を追って説明しています。実際に操作をしながら、お読みください。

## もくじ

1. 特長	1
2. ご注意	2
3. 電源のしたく	2
4. 各部の名称とはたらき	
4-1. コントロールパネル	3
4-2. リアパネル/付属品	4
5. デモ演奏を聴いてみよう	5
6. 好きな楽器音で叩こう	
6-1. スーパーセッションプレーヤー機能を使おう	5
6-2. パーカッションセットの選択	6
6-3. パッドごとに楽器音を割り当てよう (パッドアサイン)	7
6-4. オートロール機能	7
7. リズムスタイルを鳴らそう	8
8. 他の機器と接続するには	9
9. オプション(別売品)のご紹介	9
10. おかしいな?と思ったら	9
11. 仕様	10
12. アフターサービスと保証	11

## 音楽を楽しむエチケット



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

## 1. 特長

### ●52種類のPCM音源による楽器音

パッド用の音源には、楽器音をリアルに再現するPCM音源が採用されています。叩きやすい4つの大型パッドそれぞれに、52種類の中から楽器音を選んで割り当てることができます。割り当てた楽器音の組み合わせは、パーカッションセットとして1組記憶させることができます。

### ●10種類のパーカッションセット

4つのパッドに、あらかじめ楽器音が割り当てられています。プリセットとして9組、パッドに自分で楽器音を記憶させることができるものが1組、計10組あります。

### ●豊富な100種類のリズムスタイル

さまざまな演奏スタイルに対応する100種類のリズムスタイルが内蔵されています。

### ●スーパーセッションプレーヤーで楽しさ倍増

叩いたリズムに、DD-7が音でさまざまな反応をします。DD-7とのセッション(掛け合い)をお楽しみください。

### ●オートロールでハイテクニック

初心者にはちょっと難しいロールのテクニックも、オートロール機能に任せれば簡単です。

### ●好みの速さでタップスタート

パッドを叩いてカウントをとり、リズムをスタートさせることができます。

## 2. ご注意

こんな所には置かないでください。



- ・窓際などの直射日光の当たる場所や、暖房器具のそばなど極端に暑い場所
- ・日中の車内
- ・温度の特に低い場所
- ・湿気やホコリの多い場所
- ・振動の多い場所

こんな所では使わないでください。



- ・ラジオやテレビのすぐ近くで使用されますと、ラジオやテレビ側で雑音が発生することがあります。十分に離してお使いください。

乱暴に扱わないでください。



- ・落としたり、物をぶつけたり、上に座ったりしないでください。また、ボタンやスイッチ、パッド等に必要以上の力を加えないでください。傷がついたり、故障の原因となることがあります。

使わない時は…



- ・必ず電源スイッチを切ってください。
- ・電源アダプターを使用した場合は、家庭用コンセントから抜いてください。
- ・長い間使わない時は、乾電池を取り出してください。

美しく保つために…



- ・汚れは、柔らかい布でカラ拭きしてください。
- ・汚れがひどい時は、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- ・アルコールやシンナー類は、絶対に使わないでください。
- ・ビニール製品を上には置かないでください。貼り付いてしまうことがあります。

保管してください。



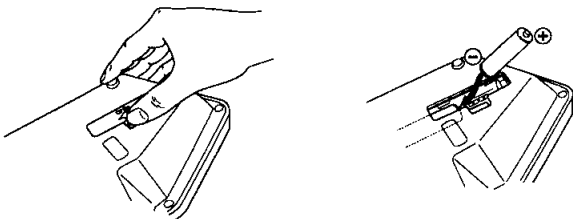
- ・この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

## 3. 電源のしたく

DD-7は、乾電池でも家庭用コンセントでも使えます。お使いになる前に、どちらかを選んでください。

乾電池を使う場合

- ①DD-7を裏返し、電池ボタンを外します。
- ②乾電池(単3乾電池)を6本入れます。向きを間違えないように入れてください。
- ③乾電池を入れたら電池ボタンを閉めます。



※電池が消耗すると、以下のような症状が出ます。このような時は、6本とも単3で同じ種類の新しいものと交換してください。なお、お買い求めの際には単3乾電池6本とご指定ください。

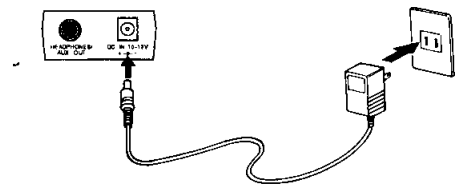
楽器音を鳴らしている時：

- ①スピーカーやヘッドホンから聞こえる音が歪む。
- ②マルチディスプレイの表示が消える。
- ③DD-7上で設定した内容がすべて初期化される。(たとえば、各パッドへの割り当てが消え、表示類もすべて使い始める前の状態に戻る。)

家庭用コンセントから電源をとる場合

別売りの電源アダプター・PA-1、PA-1B、PA-3を使用します。図のように接続してください。

- ①リアパネルにある電源アダプター接続用端子<DC IN 10~12V>へ差し込む。



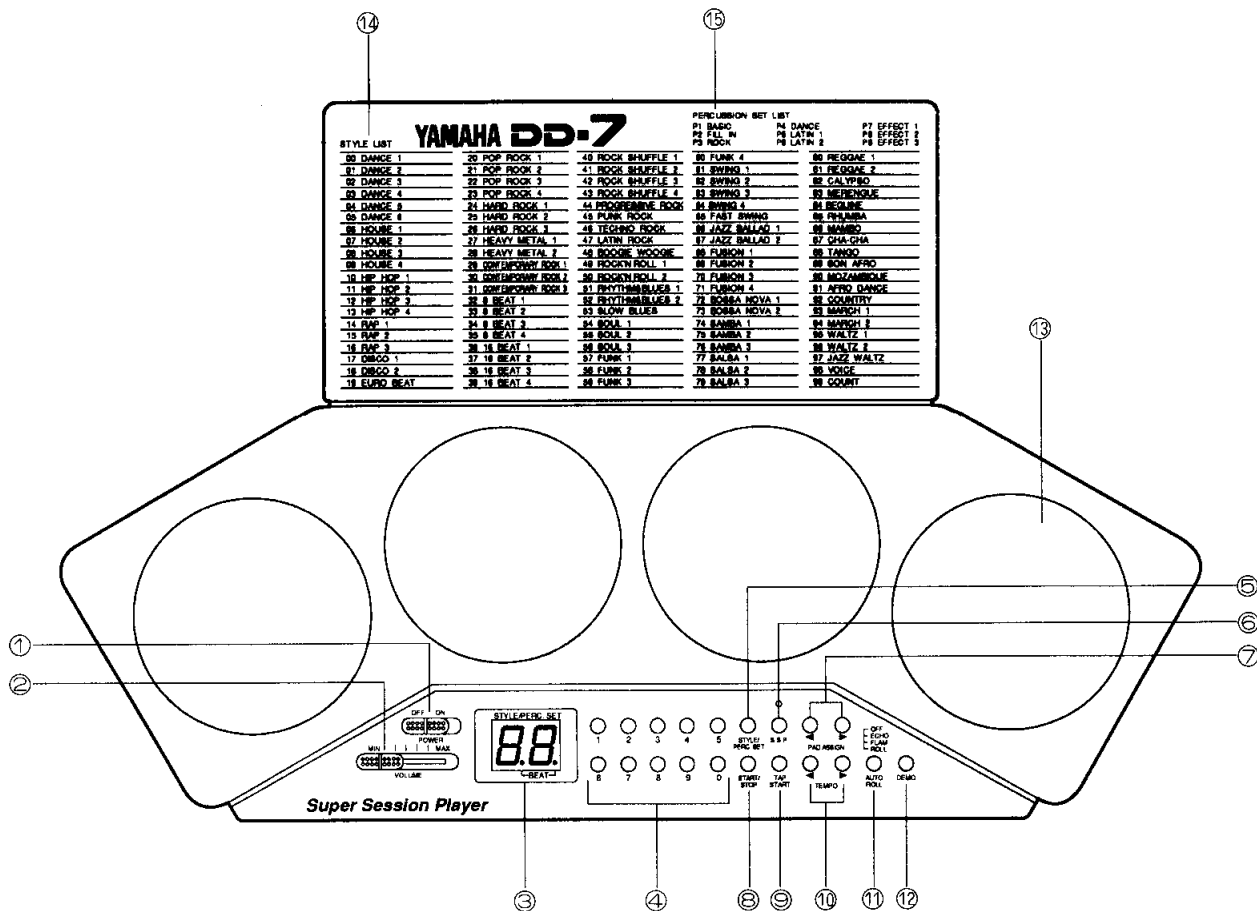
- ②家庭用(AC100V)コンセントに差し込む。

※PA-1、PA-1B、PA-3以外の電源アダプターは使わないでください。他の電源アダプター使用による故障は保証の対象となりませんので、ご注意ください。

# 4. 各部の名称とはたらき

→マークのところに詳しく説明してあります。

## 4-1. コントロールパネル



### ①電源スイッチ(POWER) → 5 ページ

電源を入れたり、切ったりするスイッチです。電源を入れると、③の[マルチディスプレイ]に、リズムスタイルの番号00が表示されます。

### ②ボリューム(VOLUME) → 5 ページ

音量を調節するためのレバーで、右にずらすほど音が大きくなります。

### ③マルチディスプレイ(STYLE/PERC.SET/BEAT) → 6、7、8 ページ

リズムスタイルの番号やパーカッションセットの番号、テンポの値などが表示されます。

### ④1~0 ボタン → 6、7、8 ページ

リズムスタイルの番号やパーカッションセットの番号を選択するためのボタンです。

### ⑤スタイル/パーカッションセットボタン (STYLE/PERC.SET) → 6、7、8 ページ

リズムスタイルの番号、パーカッションセットの番号のどちらへも選択できる状態にするかを指定するボタンです。

### ⑥スーパーセッションプレーヤーボタン(S.S.P.) → 5 ページ

叩いたリズムに対して、DD-7が音で反応します。

### ⑦パッドアサインボタン(PAD ASSIGN) → 7 ページ

各パッドに楽器音を割り当てます。

### ⑧スタート/ストップボタン(START/STOP) → 5、8 ページ

リズムをスタートさせる時やストップさせる時に押します。

⑨タップスタートボタン(TAP START) → 8 ページ  
パッドを4回(4拍子の場合)叩くと、そのテンポでリズムがスタートします。

⑩テンポボタン(TEMPO) → 8 ページ  
リズムのテンポ(速さ)を調節するためのボタンです。

⑪オートロールボタン(AUTO ROLL) → 7 ページ  
3種類の中から、オートロールの種類を選択するためのボタンです。オートロールの効果が不要な場合は、オフを選択しておきます。

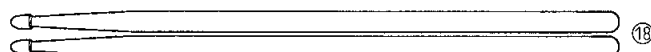
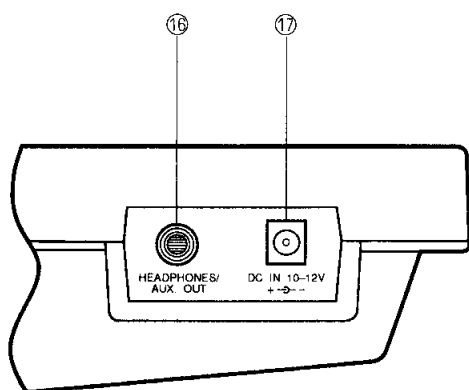
⑫デモ演奏ボタン(DEMO) → 5 ページ  
デモ演奏をスタートさせる時やストップさせる時に押します。

⑬パッド → 5、6、7、8 ページ  
付属⑬の[スティック]でパッドを叩くと、割り当てた楽器音で鳴ります。  
※付属のスティック以外で叩かないでください。

⑭スタイルリスト(STYLE LIST) → 8 ページ  
100種類のリズムスタイル名が表記されています。

⑮パーカッションセットリスト(PERC.SET LIST) → 6 ページ  
9種類のパーカッションセット名が表記されています。

## 4-2. リアパネル/付属品



⑬

⑯ヘッドホン/AUX出力端子  
(HEADPHONES/AUX. OUT) → 9 ページ  
DD-7の音を出力する端子です。ヘッドホンを接続して夜間に使用したり、キーボードアンプやステレオと接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに録音する時に使います。  
この端子にプラグを差し込むと、DD-7のスピーカーからは音が出なくなります。

⑰電源アダプター接続用端子(DC IN 10-12V) → 2 ページ  
別売りの電源アダプターを接続するための端子です。電源アダプターを接続すると、家庭用の電源コンセントから電源をご利用になります。(電池の消耗を防ぎます。)

⑱スティック → 5、6、7、8 ページ  
⑬の[パッド]を叩きます。  
※このスティックで、DD-7以外のパッドを叩かないでください。

⑲パッドアサイン用楽器音リスト → 7 ページ  
⑬の各[パッド]に割り当て可能な、52種類の楽器等の名称が表記されています。

## 5. デモ演奏を聴いてみよう

DD-7には、デモンストレーション演奏が記憶されています。この演奏は、DD-7に記憶されているリズムスタイルをつなぎ合わせたものです。リズムのお手本としてお聴きください。

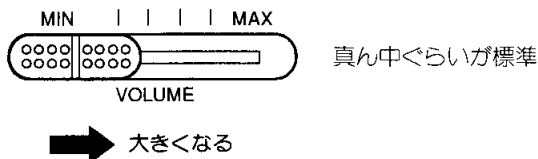
### ①電源スイッチをオン

電源スイッチをオン側にして電源を入れます。電源を入れると、マルチディスプレイに「00」が表示されます。



### ②音量の調節

ボリュームを右方向にスライドさせて、適当な音量になるようにセットします。



### ③デモ演奏のスタート

デモ演奏ボタンを押して、演奏をスタートさせます。スタートさせると、その時鳴っているリズムスタイルの番号がマルチディスプレイに表示されます。



※スーパーセッションプレイヤー用のパターンが再生されている間は、「--」が表示されます。

※デモ演奏の再生中でもパッドを叩いて音を加えることができます。

### ④デモ演奏のストップ

デモ演奏は、繰り返し再生されます。ストップさせる時は、スタート/ストップボタンまたはデモ演奏ボタンを押します。



または

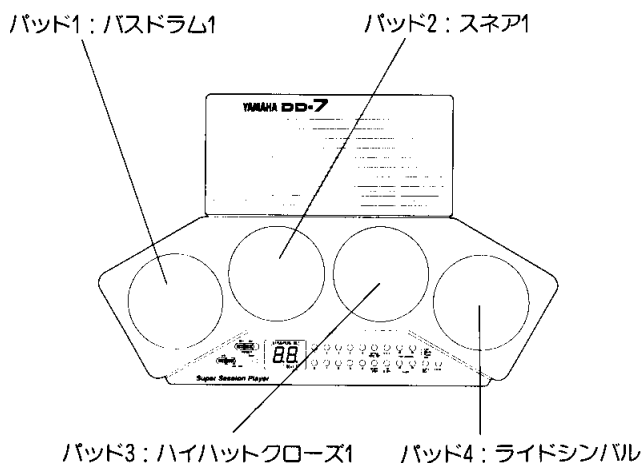


## 6. 好きな楽器音で叩こう

DD-7には、4つのパッドがあります。これらのパッドを叩いて、リズム演奏してみましょう。

※パッドを叩く強さによって音量が変わりますが、最大音量を越える必要以上の強さで叩かないでください。故障の原因になることがあります。

※あらかじめ4つのパッドには、初期状態として次のように楽器音が割り当てられています。この楽器音の組み合わせは、パーカッションセットP1のベーシックセットです。



### 6-1. スーパーセッションプレイヤー機能を使おう

DD-7にはスーパーセッションプレイヤーという楽しい機能があります。この機能により、あなたとDD-7の間でセッションを行うことができます。

#### ①スーパーセッションプレイヤー機能をオン

スーパーセッションプレイヤーボタン(S.S.P.)を押してランプを点灯させ、スーパーセッションプレイヤー機能をオンにします。



#### ②セッションの開始

パッドを叩いてリズム演奏します。すると、叩いたリズムにDD-7がさまざまな音で反応します。

- ※リズムをストップさせている時に/パッドを叩くと、効果音やスーパーセッション用/パターンが鳴ります。  
リズムをスタートさせた後に/パッドを叩くと、スーパーセッション用/パターンが追加されたりします。
- ※叩いた音の数や強さ、タイミング、選択したリズムスタイルによって反応の仕方が異なります。
- ※電源スイッチをオンにした時は、スーパーセッションプレーヤー機能はオンになっています。  
スーパーセッションプレーヤー機能が必要でない時は、オフにしてください。

## 6-2. パーカッションセットの選択

DD-7にはベーシックセットを初めとして、各パッドに楽器音や効果音の組み合わせが次表のように10種類記憶されています。これらの中から曲にマッチする組み合わせを選んで演奏できます。

※5ページで示したように、左端の/パッドを/パッド1とし、右側の/パッドまで順に1~4の番号で呼びます。次表でも、この/パッドの位置に合わせて楽器音を表記しています。

パーカッションセット一覧表

パーカッションセット 名 称	パッド							
	1		2		3		4	
P1 ベーシックセット	00	バスドラム1	03	スネア1	13	ハイハットクローズ1	17	ライドシンバル
P2 フィールインセット	03	スネア1	10	エレクトリックタム1 (ハイ)	11	エレクトリックタム1 (ロー)	18	クラッシュシンバル
P3 ロックセット	01	バスドラム2	04	スネア2	09	タム(ロー)	18	クラッシュシンバル
P4 ダンスセット	02	バスドラム3	06	スネア4	12	エレクトリックタム2	49	オーケストラヒット (ノーマル)
P5 ラテンセット1	22	コンガ(ミュート)	20	コンガ(ハイ)	21	コンガ(ロー)	25	カバサ
P6 ラテンセット2	29	ティンパレス(ロー)	28	ティンパレス(ハイ)	26	カウベル	18	クラッシュシンバル
P7 エフェクトセット1	47	サウンドエフェクト5	45	サウンドエフェクト3	44	サウンドエフェクト2	43	サウンドエフェクト1
P8 エフェクトセット2	38	犬の鳴き声	39	ライオンの声	42	コインが落ちる音	40	車のクラクション
P9 エフェクトセット3	26	カウベル	41	ブザー	30	フィンガースナップ	51	拍手
P0 ユーザーメモリー用	/パッド1~4,それぞれに、52種類の中から楽器音を選んで割り当てることが可能。							

### パーカッションセットの選択方法

#### ①パーカッションセットの選択を可能に

スタイル/パーカッションセットボタンを押して、パーカッションセットの番号を選択できる状態にします。(P1~P0いずれかの番号が表示される状態にします。)

#### ③演奏

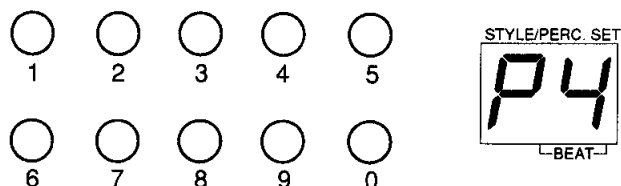
/パッドを叩いてリズム演奏をします。

※たとえば、P4のダンスセットを選択した場合は、/パッド1 (左端の/パッド)を叩くと、バスドラム3の音色で鳴ります。



#### ②セット番号の選択

P1~P0の中から、セット番号を選択します。たとえば、セット番号P4のダンスセットを選択する時は、4のボタンを押します。



※電源スイッチをオンにした時は、セット番号P1のベーシックセットになっています。

## 6-3. パッドごとに楽器音を割り当てよう(パッドアサイン)

パッド1~4に、希望する楽器音を52種類の中から選択して割り当てることができます。

### ①パーカッションセット番号を選択

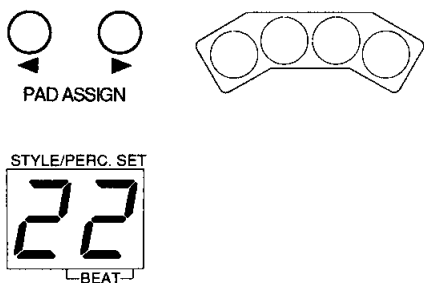
6ページ①、②の方法で、パーカッションセット番号を選択します。自分で割り当てようとする組み合わせに近いものを選んでください。

※P0(ユーザーメモリー用)以外の番号を選択して割り当てを変更しようとしても、自動的にP0に記憶されます。

### ②楽器音の割り当て

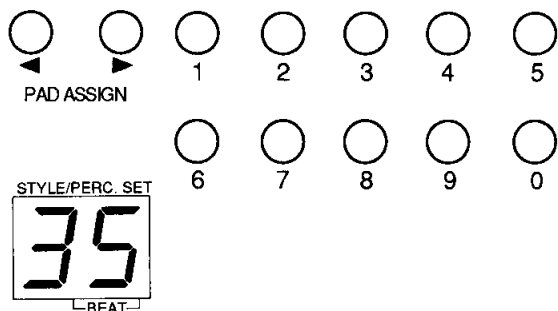
変更したいVパッドを一度叩きます。(その後二つの方法があります。)

方法1: パッドアサインボタンの▶または◀を押しながら、希望する楽器音が鳴るまでパッドを叩きます。(叩くたびに順に楽器音が発音されるとともに、マルチディスプレイに楽器音の番号が表示されます。)



パッドアサインボタンを離すと、割り当てが完了します。

方法2: パッドアサインボタンの▶または◀を押しながら、希望する楽器音の番号を0~9ボタンで選択します。(10の位の数字を押してから、1の位の数字を押します。)



パッドアサインボタンを離すと、割り当てが完了します。

※付属の「パッドアサイン用楽器音リスト」の順に、楽器音の割り当てが変わっていきます。

※パッドアサインボタンの▶を押しながらパッドを叩くと、正の順序で(大きい番号の方向に)楽器音が変わり、◀を押しながらパッドを叩くと、逆の順序で(小さい番号の方向に)楽器音が変わります。

※パッドに何の楽器音が割り当てられているかを確認したい時は、希望のパッドを叩いてから、パッドアサインボタンの▶または◀を押してください。マルチディスプレイに楽器音の番号が表示されます。

### ③他のパッドへの割り当て

割り当てを変更したい他のパッドにも、②の要領で割り当てます。

## 6-4. オートロール機能

3種類の中からロールの効果を選んでかけることができます。ロールの効果をかけると、1度叩いただけでもロールしたような(同じパッドを続けて叩いたような)音にすることができます。

### ①ロールの種類を選択

オートロールボタンを押してロールの種類を選択します。希望する効果の表示になるまで繰り返し押してください。



オフ(OFF) : ロールはかかりません。

エコー(Ec) : 1度叩いただけでも、徐々に音が小さくなりながら繰り返されます。

フラム(FL) : 1度叩いただけでも、2度鳴ります。

ロール(ro) : 1度叩いただけでも、素速く連打されます。

※オートロールボタンを1度押した時点では、マルチディスプレイに現在の設定が表示されます。

※ロールやエコーの速さは、リズムのテンポによって決まります。

### ②演奏

※楽器音の選択やテンポの指定によっては、オートロールの効果が少ない場合や、音が雑音のように聞こえる場合があります。



# 7. リズムスタイルを鳴らそう

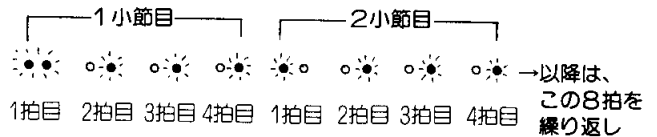
DD-7には、100種類のリズムがあります。いろいろなリズムスタイルに切り替えて、鳴らしてみましょう

## ①リズムスタイルの選択を可能に

スタイル/パーカッションセットボタンを押して、リズムスタイル番号の選択が可能な状態にします。(00~99いずれかの番号が表示される状態にします。)

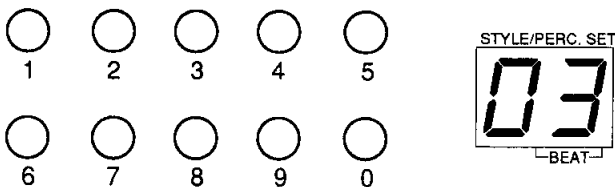


※リズムをスタートさせると、マルチディスプレイ内の点が点滅し始めます。たとえば4拍子の場合は、次のように点滅します。



## ②リズムスタイル番号の選択

00~99の中から、リズムスタイル番号を選択します。たとえば、リズムスタイル番号03のダンス4を選択する時は、0を押してから、3を押します。(10の位の数字を押してから、1の位の数字を押します。)



※リズムを鳴らしている最中にリズムスタイルの番号を選択すると、同じテンポを維持しながら次の小節でリズムスタイルが切り替わります。

また、ストップ中に切り替えると、切り替えたリズムスタイルの標準テンポになります。

※リズムを鳴らしながら、パッドを叩いて音を加えることもできます。

## ④テンポの設定

テンポボタンを押すことにより、リズムのテンポを調節できます。



※10の位を指定しただけでは、リズムスタイルは切り替わりません。

※電源スイッチをオンにした時は、リズムスタイル番号00のダンス1になっています。

## ③リズムのスタート

リズムのスタート方法には、2種類あります。

### 普通のパターンからスタートさせる場合：

スタート/ストップボタンを押します。ストップさせる場合は、もう一度押します。



※マルチディスプレイを見ながら、01(♩=40)~35(♩=280)の範囲内35ステップの中で指定できます。

表示	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12
♩	40	48	56	64	70	76	82	88	92	96	100	104
表示	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
♩	108	112	116	120	126	132	138	144	152	160	168	176
表示	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
♩	200	208	216	226	236	246	256	268	280	184	192	

### タップスタートさせる場合：

タップスタートボタンを押してマルチディスプレイの左桁の点を点滅させます。



※ボタンを押し続けると、値が連続して変化します。

※ボタンを1度押した時点では、マルチディスプレイにそれまでのテンポが表示されます。

※電源スイッチをオンにした時は、スタイル00の標準テンポになっています。

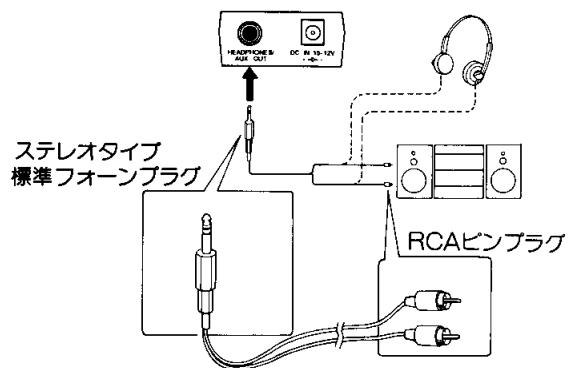
※▶と◀を同時に押すことにより、その時点のスタイルの標準テンポに戻すことができます。

次に、パッド1~4のいずれかを、そのスタイルの拍子の数だけ叩きます。するとDD-7が「ワン」・「ツー」・「スリー」・「フォー」(4拍子の場合)と声でカウントし、パッドを叩いた時のテンポで、オートリズムが鳴り出します。

## 8. 他の機器と接続するには

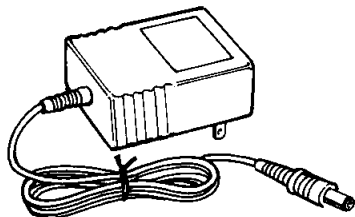
リアパネルのヘッドホン/AUX出力端子を使いステレオなどに接続して、より大きな音で鳴らしたり、カセットテープに演奏を録音することができます。

- ※ステレオに接続する時は大音量で機器をこわさぬよう、DD-7とステレオのボリュームを0にしてください。接続後は、DD-7のボリュームを8分目にして、ステレオのボリュームで音量を調節してください。
- ※この端子にプラグを差し込むと、DD-7のスピーカーからは音が出なくなります。
- ※ステレオに接続する場合は、接続コードとステレオ変換プラグが必要です。



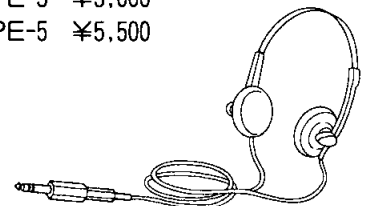
## 9. オプション(別売品)のご紹介

電源アダプター・PA-3 ¥2,000



ステレオヘッドホン・HPE-3 ¥3,000  
ステレオヘッドホン・HPE-5 ¥5,500

図はHPE-3



※表示の価格には、消費税は含まれていません。

## 10. おかしいな?と思ったら

おかしいな?と思った時は、この表を見てください。

現象	原因	解決法
電源スイッチをオンまたはオフにした時、“ブツ”と音がする。	電流が流れたため。	ご心配いりません。
音色により、わずかにノイズが交じって聞こえるものがある。(ティンパレス等の音色で)	デジタル処理をするために生じるノイズです。	ご心配いりません。
スピーカーから全く音が出ない。	音量が下がっている。	ボリュームを上げてください。
	ヘッドホン/AUX出力端子にプラグを差しているため。	プラグを抜いてください。
音が歪む。	乾電池が寿命のため。	6本とも単3で同じ種類の新しいものと交換してください。
テンポが変わらない。	一番遅い状態よりも遅くしようとしている。または、一番速い状態よりも速くしようとしている。	01~35の範囲で設定可能です。
次の内容が消えてしまっている。 ・選択したパーカッションセットの番号 ・選択したリズムスタイルの番号 ・選択したテンポ ・パッドアサインの内容	電源スイッチをオンにしなおしたため。	電源スイッチをオフにすると、初期状態になります。もう一度設定しなおしてください。
パッドを叩いても、割り当てた楽器音で鳴らない。	正確に割り当てをしていない。	割り当てをしなおしてください。(7ページ参照)

# 11.仕様

## パッド

4ヶ

## リズムのスタイル(100種類)

ダンス1~6、ハウス1~4、ヒップホップ1~4、ラップ1~3、ディスコ1・2、ユーロビート、ポップロック1~4、ハードロック1~3、ヘビーメタル1・2、コンテンポラリーロック1~3、8ビート1~4、16ビート1~4、ロックシャッフル1~4、プログレッシブロック、パンクロック、テクノロック、ラテンロック、ブギウギ、ロックンロール1・2、リズム&ブルース1・2、スローブルース、ソウル1~3、ファンク1~4、スイング1~4、ファーストスイング、ジャズバラード1・2、フュージョン1~4、ボサノバ1・2、サンバ1~3、サルサ1~3、レゲエ1・2、カリプソ、メレンゲ、ビギン、ルンバ、マンボ、チャチャ、タンゴ、ソニアフロ、モザンビーク、アフロダンス、カントリー、マーチ1・2、ワルツ1・2、ジャズワルツ、ボイス、カウント

## パッド対応楽器音(52種類)

バスドラム1~3、スネア1~4、リムショット、タム(ハイ)、タム(ロー)、エレクトリックタム1(ハイ、ロー)、エレクトリックタム2、ハイハットクローズ1、ハイハットオープン1、ハイハットクローズ2、ハイハットオープン2、ライドシンバル、クラッシュシンバル(ノーマル、リバース)、コンガ(ハイ、ロー、ミュート)、アゴゴ(ハイ、ロー)、カバサ、カウベル、クイーカ、ティンパレス(ハイ、ロー)、フィンガースナップ、ハンドクラップス、クロススティック、声1(ワン)、声2(トゥー)、声3(スリー)、声4(フォー)、声(リバース)、犬の鳴き声、ライオンの声、車のクラクション、ブザー、コインが落ちる音、サウンドエフェクト1~6、オーケストラヒット(ノーマル、リバース)、拍手

## コントロール

電源スイッチ、ボリューム、マルチディスプレイ、0~9ボタン、スタイル/パーカッションセットボタン、スーパーセッションプレーヤーボタン、パッドアサインボタン、スタート/ストップボタン、タップスタートボタン、テンポボタン、オートロールボタン、デモ演奏ボタン、パッド1~4

## 表示

2桁マルチディスプレイ(スタイル、パーカッションセット、拍子等を表示)、スタイルリスト、パーカッションセットリスト

## 付属端子

電源アダプター接続用端子、ヘッドホン/AUX出力端子

## メインアンプ

3W(8Ω)×1

## スピーカー

10cm(8Ω)×1

## 定格電源

DC10~12V：単3乾電池6本

電源アダプター(PA-1、PA-1B、PA-3)

## 消費電力

乾電池使用時 : 3W

電源アダプター使用時 : 7.5W

## 電池寿命

約4時間(マンガン電池使用、デモ演奏、ボリューム最大時)

## 外装

(間口)420mm×(奥行)261mm×(高さ)113mm

## 重量

1.3kg(乾電池重量含まず)

## 付属品

スティック1組、パッドアサイン用楽器音リスト1枚

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# 12. アフターサービスと保証

サービスのご依頼は、お買い上げ店へお申し付けください。

- 本機の保証は、保証書によりご購入から満1年です。  
(日本国内のみ有効)
- 保証期間の1年を過ぎても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。
- お買い上げ店による修理調整  
故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。
- サービスをご依頼される前に  
ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“おかしいと思ったら”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと、故障でない場合でも点検代を申し受けることもございます。)
- サービスのご依頼  
サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号などをハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(修理受付および修理品お預り窓口)

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL.011-513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL.022-236-0249
新潟サービスセンター	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL.025-243-4321
東京サービスセンター	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL.03-3255-2241
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL.044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ榊宮竹工場内 TEL.053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ榊名古屋流通センター3F TEL.052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ榊千里丘センター内 TEL.06-877-5262
神戸サービスセンター	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ榊神戸店内7F TEL.078-321-1195
四国サービスセンター	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ榊高松店内 TEL.0878-22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL.082-874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2134
(本社) カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ榊宮竹工場内 TEL.053-465-1158

# YAMAHA

YAMAHA CORPORATION

## ヤマハ株式会社

北海道支店 LM営業課	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター TEL.011-512-6113
仙台支店 LM営業課	〒983 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル TEL.022-222-6140
東京支店 特販営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL.03-3572-3130
関東支店 LM営業課	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL.03-3572-3130
名古屋支店 LM営業課	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052-201-5150
大阪支店 特販営業課	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋プラザビル東館 TEL.06-252-7491
広島支店 LM営業課	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL.082-244-3749
九州支店 LM営業課	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092-472-2130
国内営業統括本部 LM営業部	
ポータブル楽器営業課	〒104 東京都中央区銀座7-9-18 パールビル TEL.03-5568-2937

※住所および電話番号は変更になる場合があります。